



知立市 マスコットキャラクター ちりゅっぴ

誕生日
12月1日



ちりゅっぴは知立市が大好きな男の子。かきつばたの飾りをつけた馬パーカーを着て、かつてたくさんの旅人が旅した鎌倉街道や馬市のあった東海道の歴史を伝える。ベストには市章の刺繍がほどこしてある。あんまきポーチには知立市の魅力がたくさん詰まっている、心優しいのんびりや。



ちりゅっぴの部屋



LINEスタンプ
発売中



ちりゅっぴ【公式】
Twitter



ちりゅっぴサポーターズ大募集中!

ちりゅっぴを応援して下さる方々による団体です。
ちりゅっぴやその活動を応援していただける方のお申込みをお待ちしております。



詳しくはこちら



入会してくれると
特典が
あるっぴよ!

個人会員

プレミアム
個人会員

企業・団体
会員

アクセス情報

電車でのルート

- JR「名古屋駅」下車、名鉄本線乗り換え「知立駅」下車 (所要時間:約20分)
- JR「三河安城駅」下車、タクシー (所要時間:約10分)
- 中部国際空港から空港バス「知立駅」行き (所要時間:約60分)
- 名鉄特急「金山駅」乗り換え「知立駅」下車 (所要時間:約50分)

※「知立駅」から市役所までは徒歩約15分です。
ミニバス、タクシーもご利用いただけます。



- 東海道新幹線
- 名鉄名古屋本線
- JR東海道本線
- JR飯田線
- 伊勢湾岸自動車道
- 新東名高速道路
- 東名高速道路
- ✈ 空港

車でのルート

- 伊勢湾岸道豊田南ICから国道155線「豊田南バイパス」を知立方面へ。宝町南交差点を右折。(所要時間:約15分)



知立を 楽しもう!

愛知県にある知立市には、隠された魅力がいっぱい詰まっています。玉手箱のようなこの街をぜひ楽しんでください。



目次

- 市内名所 …… 1-6
- まちあるき …… 7-8
- お土産・グルメ …… 9-10
- イベント …… 11-12
- 地図 …… 13-14

〒472-8666
愛知県知立市広見3丁目1番地
TEL : 0566-83-1111
HP : <https://www.chiryu-kanko.com>



知立市役所



知立市観光協会



発行:知立市
2023.03/5.000

ロマンあふれる知立の歴史を発見!



かきつばた&八橋周辺史跡

八橋かきつばた園

八橋は、古くよりかきつばたの名勝地として知られてきました。園内には大小16の池があり、毎年見頃の時期にあわせて「史跡八橋かきつばたまつり」が開催されます。

八橋古碑

やっほしこひ

おぎょうらい おきとどうい
秋本頼徳に学んだ秋本頼夷や、その門人
国分伯機らによって建てられました。碑文は
難解なことで有名です。



市内名所

宝篋印塔

(杜若姫供養塔)

ほろきょういんとう
(かきつばたひめくわとう)

業平を恋慕していた杜若姫は、業平の東下りの際、はるばる都よりその跡を追い八橋までたどり着きましたが、業平はすでに八橋を発ったあとでした。杜若姫は悲願の余り八橋の地で入水し、亡くなったと伝えられます。

在原業平

ありわらのなりひら

伊勢物語の主人公といわれている在原業平が、東下りの途中、八橋にさしかかり、かきつばたが一面に咲き乱れているのを見て【**からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ**】と詠んだ歌は、句頭に「かきつばた」の5文字を入れていることで有名です。



業平像

無量壽寺

むりょうじゆじ

臨済宗妙心寺派に属しており、山号は「八橋山」で、寺号は「無量壽寺」です。敷地内には、八橋かきつばた園や八橋史跡保存館があるほか、八橋古碑などの史跡を見ることができます。

毎年4月下旬から5月中旬にかけて行われる「史跡八橋かきつばたまつり」では、尾形光琳作「燕子花図屏風(複製)」、八橋時絵螺鈿硯箱(複製)、「長線(再現品)」が展示されます。



来迎寺一里塚

らいこうじいちりづか

一里塚は、慶長9年(1604)に江戸幕府の命により、1里(=約4km)毎の目安として設置されました。知立では塚の上に松が植えられており、全国的にも珍しく両塚が残っています。一里塚の周辺には、来迎寺など史跡が残り、歴史の積み重ねを感じさせます。



在原寺

落田中の一松



Column

方巖売茶翁

ほうがんばいさお

宝暦10年(1760)に福岡藩士の三男として生まれました。幼くして両親に先立たれて仏門に入り、京都の妙心寺での修行を経て僧となりました。京都の相国寺の大興禪師に師事し、大典禪師を通じて初代売茶翁高遊外の生き方や煎茶道について学び、茶を売りながら諸国を巡歴しました。文化2年(1805)に八橋を訪れ、当時荒れ果てていた在原寺を再興し、その後無量壽寺に入寺しました。



売茶翁肖像/無量壽寺蔵



かきつばたずびょうぶ
燕子花図屏風(複製)



やつはしまきえらでんすずりばこ
八橋時絵螺鈿硯箱(複製)



ちやんせん
長線(再現品)

知立神社

ちりゅうじんじや

池鯉鮒大明神と呼ばれ、社伝では景行天皇の頃の創建と伝えられています。境内にある「多宝塔」、国の重要文化財であり、扁額、舞楽面、能面は県指定に、獅子頭等15点は市指定の文化財になっています。例祭である「知立まつり」は毎年5月2日・3日に行われ、隔年で開催される本祭り(ほんまつり)で奉納される5台の山車は絢爛と目を奪うばかりです。このとき上演される「知立の山車文楽とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。



知立神社と祭り、史跡



知立まつり

ちりゅうまつり

知立神社の例祭である「知立まつり」は、初夏を飾る一大風物詩で、本祭りと間祭りが隔年で行われます。本祭りの際に山車の上で上演される「知立の山車文楽とからくり」や、山車の担ぎ上げが見どころです。

秋葉まつり

あきばまつり

「秋葉まつり」は毎年9月中旬の日曜日に行われます。昼間は、市内6町(山町・山屋敷町・中新町・本町・西町・宝町)の若衆が玉箱を担ぎ、長持唄を歌いながら威勢よく町内を練り歩きます。夕方になると知立神社に宮入し、勇壮な手筒花火を奉納します。

若衆が手筒花火に付けられた縄の握り手をつかんで円陣をつくると、一斉に花火に点火します。燃え上がる炎は、高さ7mを超えます。



知立公園 花しょうぶ園

ちりゅうこうえんはなしょうぶえん

知立公園の花しょうぶは、昭和31年、同32年、同35年の3回に渡り、明治神宮より下賜されたもので、明治天皇ならびに昭憲皇太后御遺愛の名品60種が植えられています。知立神社をはさんで東公園と西公園があり、いずれの公園でも花を觀賞することができます。



知立古城跡

ちりゅうこじょうあと

かつて、刈谷城主水野忠重が「御屋形」を建て、織田信長を響応しました。江戸時代初期には、「御殿」として将軍が上洛する際の宿泊施設として使用され、水野勝成や松平忠房がその増築に関わりました。しかし、元禄期の地震で倒壊したと言い、その後は再建されませんでした。現在は児童遊園として整備されています。



総持寺

そうじじ

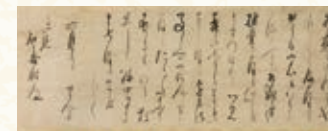
伝教大師作の阿弥陀仏をまつる本地堂(じかくだいし えんにん)が嘉祥年中(848~851)に建立したのが始まりといわれています。江戸時代には、知立神社の別当寺院として機能し、明治時代一時廃寺となりましたが、昭和2年(1927)に現在の地で再興されました。境内の一堂には、かつて知立神社の多宝塔内に安置されていた「愛染明王坐像(市指定文化財)」が祀られています。

Column

家康公側室・お万の方と永見貞愛

お万の方は、知立神社の神主家・永見貞英の娘で、徳川家康の正室・築山殿に仕えたとされています。のちに双子の子を授かって家康の側室となり、双子のうちひとりの永見貞愛は、知立神社の神主となりました。永見貞愛は体が弱く、お万の方の兄・永見貞親に引き取られました。天正

19年(1591)に知立神社の神主職を継ぎ、その際家康から冠・装束・信国銘の太刀・濃州長勝銘の鎧を授かりました。残念ながら貞愛は、慶長9年(1604)に31歳の若さで死去しますが、同年に書かれたと思われる母・お万の方からの消息の写が知立神社に残っており、そこには病身の貞愛を案じてお見舞いの品を送ったことが記されています。この消息の写は、毎年5月中旬から6月上旬に開催される「知立公園花しょうぶまつり」の期間にあわせ、知立神社にて公開されます。



お万消息写/知立神社蔵



三河弘法第1番札所である遍照院には、弘法大師の自像三体のうちの一「見返弘法大師」と呼ばれる本尊が祀られており、2番札所は刈谷市一ツ木町の西福寺、3番札所は刈谷市一里山町の密蔵院となっています。
毎月、旧暦21日の命日には参道に多くの店が出て、参拝客などで賑わいます。



弘法さんの歴史と賑わい



弘法さんの縁日

毎月、旧暦の21日の弘法大師の命日に、遍照院では大祭が開かれ、多くの人たちが集まります。

特に、遍照院前の道治い(当日は歩行者天国になります)には、多くの店が立ち並び、古きよき知立を目の当たりにすることができます。

寺の市

弘法発展会が遍照院にて行うマルシェです。毎月第3日曜日の午前9時から午後1時まで開催されます。

遍照院を含めた周辺地域の活性化を目的として、平成23年に「軽トラづくり市」としてはじまり、令和元年9月にリニューアルを経て現在の「寺の市」となりました。

とれたての野菜や果物、干物、手作りのアクセサリや雑貨、陶芸品、工芸品などが販売され、多くの人で賑わいます。



その他史跡・施設



史跡

養正館

明治18年に明治用水土功会事務所として建設され、その後大正3年に私立愛知工芸学校、大正9年には私立岡崎工芸学校、私立知立裁縫女学校が建物を使用しました。廃校後の昭和10年に知立神社境内に移転され、現在の名称に改められました。



八橋伝説地

『伊勢物語』の主人公とされる在原業平の伝供養塔(写真)があり、業平の分骨が取められているといわれています。



根上りの松

根が2mほど持ち上がっていることから名付けられ、鎌倉街道の傍りに往時の賑わいを偲ぶように立っています。根本には「鎌倉街道之跡」の碑があり、碑陰には阿仏尼の「十六夜日記」の一節が刻まれています。



内藤魯一像

内藤魯一は、福島藩の家老の家に生まれ、明治維新後福島から当地に移りました。重原藩(旧福島藩)の大参事として土族授産に奔走し、その後、自由民権運動を推し進め指導的役割を果たしました。



施設

知立市観光交流センター

観光案内所として観光情報を提供するほか、イベントの開催やちりゅうグッズをはじめとしたお土産品の販売を行っています。



開館時間 午前9時00分～午後5時00分
休館日 毎週火・水曜日(祝日は開館)、年末年始

知立市歴史民俗資料館

東海道五十三次の池鯉鮒宿のジオラマ・西中遺跡群の出土品など、知立の歴史と文化を知る貴重な資料を展示しています。



開館時間 午前9時00分～午後5時00分
休館日 毎週月曜日(祝日は開館)、第4金曜日(祝日の場合はその前日)、年末年始

八橋史跡保存館

八橋史跡保存館には、八橋かきつばたの歴史や文化にまつわる数十点の文化財が保存されています。



開館時間 午前9時00分～午後4時00分
(史跡八橋かきつばたまつり期間のみ午後5時00分まで)
休館日 7月1日～3月31日の全期間、4月1日～6月30日の間の月・金曜日(史跡八橋かきつばたまつり期間は無休)

知立市文化会館

知立市文化会館は、ホールを備えた文化施設です。ロビーでは山車文楽・からくりを展示しているほか、施設の一角では山車を見ることができます。



開館時間 午前9時00分～午後10時00分
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、翌日が休館日)、年末年始

東海道を歩こう!

知立は、かつて東海道の品川宿から数えて39番目の宿場町「池鯉鮒宿」として多くの旅人が行き交いました。かつての街道近隣を中心に、歴史や文化などを楽しむことができます!

その魅力が認められ、宿場のあった地域を含む散歩みちの「東海道宿場散歩みち」は、新日本歩道紀行100選「文化の道」のひとつとして選定されています。



Column

東海道宿場散歩みち



「東海道宿場散歩みち」を散策して、知立の歴史や文化を感じてみてください!

■コース詳細

- | | | | | | |
|------------|---|-----------|---|-----------|---|
| 無量壽寺(スタート) | → | 八橋かきつばた園 | → | 明治用水緑道遊歩道 | → |
| 知立松並木 | → | 池鯉鮒宿本陣跡 | → | 山車蔵 | → |
| 知立古城跡 | → | 知立神社(ゴール) | → | | |
- 東海道宿場散歩みち
—— 旧東海道

まちあるき



1 知立神社／多宝塔

三河国二宮として知られる名社です。また、江戸時代には蛟除けの神として祀られたほか、雨乞い・安産の神としても知られました。境内にある国指定重要文化財の多宝塔も趣深いです。



2 芭蕉句碑(知立神社内)

石碑に刻まれた「不断つ池鯉鮒の宿の本郷市」は、芭蕉が詠んだ句です。かつて池鯉鮒宿で本郷市が開かれ、賑わっていたことを表しています。



3 常夜灯(知立神社内)

かつて東海道の街道筋にあった常夜灯です。現在は知立神社の大鳥居付近にあり、旅人たちを照らした往時を偲ばせます。



4 知立古城跡

刈谷城主水野重忠が御屋形を建て織田信長を饗応しましたが、のちの江戸時代元禄期の地震で倒壊したといわれています。



5 池鯉鮒宿本陣跡

本陣とは、大名や公家が休泊する施設です。池鯉鮒宿にも本陣が置かれていましたが、明治8年に取り壊されました。現在はかつて位置した場所に石碑が建てられています。



6 池鯉鮒宿問屋場跡

問屋場は、宿駅の業務全般を取り仕切ることで、主に公用旅行者のための馬と人足を用意し、次の宿まで運搬する人馬の継立と、幕府の公用文書を運ぶ通信業務を担っていました。池鯉鮒宿の問屋場は昭和46年に取り壊され、現在は跡地を示す碑が建てられています。



7 馬市の碑

馬市とは馬を売買するための市です。知立の馬市は、4～5月に現在の知立松並木周辺で開かれていたとされ、江戸時代を中心に繁栄しました。その様子が歌川広重の浮世絵に描かれたことでも知られています。



8 知立松並木

知立松並木は、旧東海道沿いにあり約500mに渡ります。並木は旅人にとって夏は日差しを遮り、冬は防風防寒の役目を果たしたと考えられ、街道の象徴でした。その姿が往時を思わせます。

とっておきの

地元で
話題!

おみやげ・グルメ

知立のとっておきの特産品やグルメを厳選してご紹介します!
知立に来たら、ぜひお立ち寄りください♪

thirty nine cafe

☎ 0566-84-3378



39番目の宿場町に
ちなんだ店名と
おしゃれな外観が目印。
日替わりのキッシュなど
おすすめメニューのほか
季節のスイーツも人気です!



〒472-0023 知立市西町西4
営業時間:平日9:00~土日8:00
~L.O10:45(モーニング)、
11:00~L.O14:30(ランチ)、
15:00~L.O17:30(カフェ)
定休日:水曜日、第1・3火曜日
交通機関:名鉄知立駅から徒歩
約7分
駐車場:16台

ふわふわ卵サンド

西尾市にある吉良農場のうまみ卵をたっぷり
使った、焼きたてのオムレツをサンドしたイチオシ
の人気メニューです。

フルーツ最中十み果 知立本店

☎ 0566-87-0427



フルーツ最中のテイクアウト専門店。良質な
もち米から作る最中種と高級小豆の餡、そして
市場から直送される季節のフルーツを使った
最中です!



〒472-0026
知立市上重原町
恩田208
営業時間:10:00
~L.O20:00
定休日:不定休
交通機関:名鉄重
原駅から車で約4分

和牛ハンバーグe-café

☎ 080-1616-8182

自慢のニンニクと
わさびのオリジナルソースが
味わい深いハンバーグや
ふわふわのオムレツが乗った
トマトソースのハンバーグがおすすめです!



トマトソースの ハンバーグとろとろオムセット

お店オリジナルハンバーグととろとろのオムレツ、
甘味と酸味がちょうどよいトマトソースが最高にマッチします!

〒472-0012
知立市八ツ田町久根ノ内58
営業時間:9:00~15:00、金曜日のみディナー18:00~21:00
定休日:不定休
交通機関:名鉄半田駅から車で約4分
駐車場:6台



自慢のお寿司や、
新鮮な魚を使ったランチが絶品です。
待ち時間が少なく、
天ぷらはアツアツのうちに提供されます!

鮭ランチ

限定20食のランチは、寿司、天ぷら、汁物、
サラダ、目替わりの一品で1,100円/プラス
200円でお刺身がっきます!

ひろ寿司

☎ 0566-82-2000



〒472-0017
知立市新林町新池38-12
営業時間:11:30~14:00、
17:00~21:00
※夜は予約制。
定休日:月曜日
交通機関:東刈谷駅から
徒歩約18分
駐車場:12台

知立ブランド認定特産品取扱い店 地元で愛されるスイーツや特産品はお土産にもぴったり♪

株式会社藤田屋



大あんまき / 210~280円

所在地 〒472-0006
知立市山町小林24-1
連絡先 0566-81-1284
定休日 無休
営業時間 8:00~20:00

仲両口屋本舗



ちりっぴまん / 150円

所在地 〒472-0007
知立市牛田町東裏96-2
連絡先 0566-81-0450
定休日 火曜日、第3月曜日
(夏期第1月曜日)
営業時間 9:30~17:30

廻鮮江戸前すし魚魚丸



馬肉どて煮 / 518円

所在地 〒472-0056
知立市宝3丁目14-2
連絡先 0566-83-4499
定休日 無休
営業時間 平日 11:00~21:00
土日祝 11:00~22:00

知立マコモ研究会



まこもたけのまぜごはんの素 / 880円

所在地 〒472-0026
知立市上重原町本郷67
連絡先 0566-81-3817
定休日 不定休
営業時間 お電話にてお問合せください。

ギフト座丸八



ちりっぴぬいぐるみ / 3,050円

所在地 〒472-0033
知立市中町中85
連絡先 0566-81-0018
定休日 火曜日、水曜日
営業時間 10:00~19:00

三河両口屋喜泉



池鯉鮒野 / 190円

所在地 〒472-0047
知立市新富1丁目35-1
連絡先 0566-81-0728
定休日 火曜日、第2・4月曜日
営業時間 9:00~17:30

太田屋米穀店



ちりっぴあんこもち / 650円

所在地 〒472-0041
知立市新地町東新地51
連絡先 0566-81-0498
定休日 日曜日
営業時間 9:00~19:00

小松屋本家



あんまき / 200円

所在地 〒472-0023
知立市西町西83
連絡先 0566-81-0239
定休日 火曜日
営業時間 8:00~19:00

株式会社米蔵家



だっぴ〜クイン / 2,800円

所在地 〒472-0003
知立市牛田2丁目65
連絡先 0566-81-3128
定休日 日曜日、祝日、第2土曜日
営業時間 10:00~19:00

ボーイゲル



ちりっぴ缶 / 830円

所在地 〒472-0044
知立市広見2丁目57番地
連絡先 0566-81-0754
定休日 不定休
営業時間 9:30~12:30、13:30~16:00
※要予約

ホテルクラウンパレス知立 ティーラウンジ オーキッド



ラ・ポアトリス / 900円

所在地 〒472-0033
知立市中町中128
連絡先 0566-85-1004
定休日 不定休
営業時間 11:00~16:00

令和5年時点の情報です。



イベント年間カレンダー

名称	時期	場所
弘法さんの縁日	毎月/ 旧暦21日	知立弘法山遍照院
寺の市	毎月/ 第3日曜日	知立弘法山遍照院
史跡八橋かきつばたまつり	4月下旬 ～5月中旬	八橋かきつばた園
知立まつり	5月2日・3日	知立神社
知立公園花しょうぶまつり	5月中旬 ～6月中旬	知立公園花しょうぶ園
知立よいとこ祭り	8月下旬	市役所周辺
秋葉まつり	9月中旬	知立神社
知立弘法山を写す会	11月下旬	知立弘法山遍照院
ちりゅっぴお誕生日会	11月下旬	文化会館
知立ドリーム イルミネーション	12月上旬 ～下旬	新地公園



ちりゅっぴお誕生日会



知立弘法山を写す会



知立まつり



初夏を飾る一大風物詩で、1年おきに本祭りと同祭りが行われます。
本祭りで奉納される「知立の山車文楽とからくり」は、国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。
⇒詳細は3ページ



弘法さんの縁日

毎月、旧暦21日の弘法大師命日には、参道に多くの店が立ち並びます。

⇒詳細は5ページ



寺の市

弘法発展会が弘法山遍照院にて行うマルシェです。毎月第3日曜日の午前9時から午後1時まで開催されます。

⇒詳細は5ページ



史跡八橋 かきつばたまつり

史跡八橋かきつばたまつりは、約70年前から続く祭りです。祭り期間中はいつでも花を觀賞することができます。

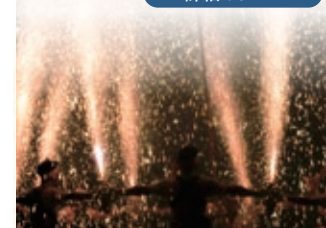
⇒詳細は1～2ページ



秋葉まつり

若衆が威勢よく町内を練り歩き、夕方には知立神社に玉箱や手筒花火を奉納します。

⇒詳細は3ページ



知立公園 花しょうぶまつり

知立公園の花しょうぶは明治神宮から下賜されたもので、明治天皇ならびに昭憲皇太后御遺愛の名品60種が植えられています。

⇒詳細は4ページ



知立よいとこ祭り

知立の夏の風物詩である「知立よいとこ祭り」。市民総出を合言葉に盆踊りや花火大会などを楽しめます。



知立ドリーム イルミネーション

知立の冬の風物詩である「知立ドリームイルミネーション」。光に彩られた会場は、別世界のような空間です。



知立市の全体MAP

知立神社



秋葉まつり 知立まつり 知立公園花しょうぶ園

八橋かきつばた園



無量壽寺 八橋古碑 根上りの松 業平供養塔



知立弘法山遍照院



弘法さんの緑日 寺の市

アイコン一覧

- ... 寺
- ... 神社
- ... レンタサイクル
- ... お土産(詳細はP.10にて)
- ... グルメ(詳細はP.9にて)



無料のレンタサイクルサービスもあります!

レンタサイクルで自転車での散策も可能です。



受付場所

- ①知立市役所 (8:30 ~ 17:00まで)
- ②知立市駅前駐車場 (8:30 ~ 19:00まで)